

# 新年

## あいさつ



### — 就任のごあいさつ —

関川村長 加藤 弘

村民の皆さま、新年あけましておめでと  
うございます。

今年も皆様にとつて幸多き一年となりま  
すよう心からお祈り申し上げます。

さて私こと、昨年十二月二十四日、十六  
年にわたって村政のかじ取りをなされた前  
村長平田大六さんの後を受け、第九代の村  
長に就任させていただきました。

昨年は、全集落にご挨拶にまわり、村内  
各地域でミニ集会を開き、村政に対する私  
の思いを語り、皆さんと意見交換を行いま  
した。

自らの足で地域を回ることに、村民の皆様  
と対話することで地域の課題を知り、皆様  
の思いを感じることができました。

一方で、昨年末の選挙では、無投票当選  
となり、村民にとつて村政選択の余地がな  
かったとも言えます。このことを頭におき、  
これからも皆様との対話を重視し、更なる  
信認を得ていきたいと思っております。

私は、村の重点課題の一つとして、地域

資源を活かした産業の振興と雇用の場の確  
保をあげましたが、これは既に平成十年三  
月制定の関川村村民憲章に掲げられており  
ます。

各集落の集会所に掲げられた村民憲章を  
見るたびに、いま村にある懸案事項を早く  
解決し、村民憲章にある「豊かで住みよい  
活気ある村づくり」を進めなければとの思  
いを強くしました。

【わたしたちは、(略)、豊かで住みよい  
活気ある村づくりに努め、輝かしい未  
来を築き上げることを誓い、ここに村  
民憲章を制定します。

わたしたちは、  
一、恵まれた資源を生かし、活力ある  
産業の村をつくります。

関川村村民憲章より】

そして私は今、村民憲章を読み返し、村政  
に対する決意を新たにしているところで  
す。今後とも皆様のご支援、ご指導をよろし  
くお願い申し上げます。

# 謹 賀

年 頭 の ご



— 全住民アンケートで  
小規模多機能自治へ —

関川村議会議員

近 良 平

あけましておめでとうございます。皆様には健やかな正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は羽越水害から50周年を迎えいろいろな事業が実施されました。その度に村民皆様には大変なご理解ご協力を賜りました。ありがとうございます。防災はいつまでも続く永遠の課題であります。常に備えを忘れずに対応していくことが肝心です。地域防災組織を充実させ村民一丸となつて取り組むことが大事だと思ひます。あわせて防災士の養成も必要です。より多くの村民が防災士に挑戦することを望みます。

昨年から地域おこし協力隊の2名が観光協会と霧出地区で活動を開始いたしました。2名とも期待以上の活躍をしてきています。今年2年目にはますます成果を示してくれると思ひます。しかしながら、協力隊はあくまでも協力隊でしかありません。協力隊にはその対象である地域おこしの本体の存在が欠かせません。協力隊の活躍以前に地域おこしの本体の活躍が欠かせないの

です。観光協会及び霧出地域の皆さんのがんばりを期待します。

霧出地域では中学生以上にアンケートを実施しました。その結果報告会とワークショップが3回にわたつて開催されました。そのワークショップの成果が本体の活動の中心になるのではないかと思います。アンケートは七ヶ谷地域でも行われました。七ヶ谷地域の課題も洗い出されたことと思ひます。課題解決のためには住民の参加が欠かせませんので積極的にワークショップなどに参加してください。小規模多機能自治は少子化、高齢化に対応するための有効な手段です。そのための第一歩が全住民アンケートなのです。実施していかないコミュニケーションでも取り組むべきです。12月には平田大六氏が勇退し加藤弘氏が村長に就任しました。4期16年の平田村政の成果を継続させながら新たな施策に挑戦していただきたいと思ひます。村民皆様にとり平成30年がより実り多い年になりますようお祈りします。